

# まぐろから見える世界

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎

18



間もなく2012年も終わる。今年を振り返ってみると、大西洋のクロマグロやミナミマグロに資源回復の兆候が見えてきたという明るい話題とともに、インド洋のソマリア海賊を撃退しつつ操業し、実質的に漁場を回復した漁業者の動きや、日本においては、水産庁のプロシエクト

を活用しつつ、新船の建造に踏み切る漁業者が増加するなど、困難の向上も示された年

を活用しつつ、各地域漁業管理機関の資源管理の向上も示された年

## 来年が正念場 中西部太平洋

### 半端な規制の結末は資源枯渇

な問題をほねのけて先

とも言えよう。それだ。未成熟メバチを大量に混獲する懸念が、今でも、メバチの乱獲を止めることが望まれている。今年、メバチの乱獲を止めることが望まれている。今年、メバチの乱獲を止めることが望まれている。

#### ◆5カ年計画策定

(期待)

この期に及んでは

WCPFCの会議中、

日本政府が主導して明

定められていた3カ年、策定することの決

(毎月1回掲載)



また、東部太平洋で、初期は、初めてクロマグロの漁獲枠が設定され、

口類委員会(WCPFC)の停滞が際立

この期に及んでは

WCPFCの会議中、

日本政府が主導して明

定められていた3カ年、策定することの決

#### ◆不十分な

WCPFC管理

既に報道されている

とおり、12月2日から

6日まで、マニラで開

催されたWCPFCの

年次会合は、メバチの

過剰漁獲問題につい

て、明年一年間の暫定

的な管理措置を定めて

して、いかほどの意味

があるだろうか？

かねて求められてい

る過剰漁獲問題の根本

にある大型巻網漁船の

隻数凍結、さらには削

減、そして実効あるF

ADS操業の規制をも

る中西部太平洋。来年

態をさらに深刻化させ

るはかりだ。かかる根

本的な問題にWCPFC

を

迎えることとなる。

それは消費者をも巻き

込むこととなる。行き

着くところまで行かな

ければ、ならないのか

？世界のマグロ漁獲